2025 年 11 月 18 日
株式会社中央経済社

『公認内部監査人資格認定試験対応　内部監査基本テキスト〈第４版〉』
（水島　正・衞藤秀三郎著）
お詫びと訂正のお知らせ

本書において、下記のとおり誤りがございました。読者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、本書をご利用くださいますようお願い申し上げます。

【第１刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
23	17 行目	内部監査人に独立性が	内部監査部門に独立性が
	18 行目	果たすのにあたり	果たすにあたり
	22 行目	客観性により内部監査人は	客観性があることにより，内部監査人は，
	23 行目	自己の業務の成果	自己の業務（work）の成果
	24 行目	可能になる	できる
27	21 行目	外見上	外観上
41	下から 3 行目	内部監査の定義，	（削除）
47	図表中	感熟度レベル	成熟度レベル
50	5 行目	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロール（GRC）の概念	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロールの概念
	13 行目	GRC（Governance, Risk Management, Control）	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロール
	20 行目	GRC	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロール
51	1 行目，2 行目，	GRC	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロール

	8 行目		
	6 行目，10 行目	GRC プロセス	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロールのプロセス
52	6 行目，9 行目	GRC	ガバナンス，リスク・マネジメント，コントロール
63	最終行	倫理感	倫理観
66	13 行目	7 つの原則を明示	7 つの原則（後の改訂で 8 番目の原則が加わり，現在は 8 つ）を明示
69	1 行目	7 つの原則	8 つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	（新規追加）	8．機関投資家向けサービス提供者は，機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり，適切にサービスを提供し，インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。
70	13 行目	2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが，2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが，一部改訂されました。	スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に，コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部改訂されました。今後も 2～3 年に 1 度の改訂が予想されます。
72	最終行	捕捉されかつ伝達	捕捉かつ伝達
73	8 行目	その双方	その両方
	16 行目	資産の保護	資産の保全
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	11 行目	建築	構築
	19 行目	マトリクス状	マトリクス上
90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監	手続き	手続

	査のポイント」中		
94	5 行目	基準 2210. A1	基準 1220. A1
95	7 行目	システム・セキュリティ一監査	システム・セキュリティ監査
100	12 行目	第 24 条（保有個人データに関する事項の公表等）	第 27 条（保有個人データに関する事項の公表等）
154	8 行目	d　上記のいずれも該当しない	d　業務の有効性・効率性を評価すること
173	21 行目	コントロールおよび組織体のガバナンス・プロセスの有効性の評価，改善を，内部監査としての体系的手法と規律遵守の態度とをもって行う	コントロールおよびガバナンスの各プロセスの有効性の評価，改善を，内部監査の専門職として規律ある姿勢で体系的な手法をもって行う
175	2 行目	完全な伝達とは，対象の読者に対し基本的な要素を欠かすことがなく，勧告と結論を裏付けるすべての重要で適切な情報と発見事項を含む。	完全な伝達とは，対象の読者にとって非常に重要な事柄を欠くことがなく，改善のための提言と結論を裏付けるすべての重要性が高くかつ関連する情報と発見事項を含むものである。
181	7 行目	専門職的実施基準の国際フレームワーク	専門職的実施の国際フレームワーク
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
188	1 行目	発注者	発注書
201	5 行目	a，b は該当するが c は該当しない。	a，b，d は該当するが c は該当しない。
209	1 行目	倫理要綱	倫理綱要
	下から 5 行目	組織体の戦略，	組織体の，戦略，
213	図表中	リスク・コントロール・マトリクス	リスク・コントロール・マップ
217	11 行目	課題に	課題へ
219	14 行目	予想所用時間	予想所要時間
225	13 行目	専門職の正当な注意（due professional care）	専門職としての正当な注意（Due Professional Care）
232	2 行目	Part 1 で学びました	229 頁以降で説明済みです
242	最終行	水平的（右から左へ進む）	水平的（時間の流れを左から右へ示す）

		垂直的（上から下へ進む）	垂直的（時間の流れを上から下へ示す）
243	図表タイトル	業務の流れ図（例）	業務の流れ図（垂直的フローチャートの例）
244	4行目	水平的にビジネスフローを	水平的に時間の流れに沿ったビジネスフローを
	9行目	垂直的にビジネスフローを	垂直的に時間の流れに沿ったビジネスフローを
249	24行目	補足する	捕捉する
254	4行目	関連規則等	関連規制等
	下から2行目	第1章の	本 Part 第1章の
255	14行目	文書化し保存	文書化し，保存
	21行目	他の知識	他の能力
	下から2行目	明瞭，簡潔，建設的かつ適時的	明確，簡潔，建設的，完全かつ適時的
259	「CIA 受験のポイント」下7行目	筆者の実感は，特に監査での発見事項を被監査部門に説明する際の，論理性，説得力がとりわけ重要と思います。	特に監査での発見事項を被監査部門に説明する際の，論理性，説得力がとりわけ重要であると筆者は実感しています。
264	19行目	曲解	歪曲
267	下から2行目	内部監査部門長は以下のことを	内部監査部門長は，以下のことを
268	2行目	それらの	その
276	10行目	知らせなければ	開示しなければ
	11行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」
310	下から2行目	正規分布	二項分布
311	3行目	財務報告に係る内部統制の監査に関する実務上の取扱い（公開草案）	財務報告に係る内部統制の監査に関する実務上の取扱い
325	4行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
390	8行目	（詳細は，http://www.iiajapan.com/certifications/info/20180404.html を参照）	（削除）
393	6行目	経済実態の前提	経済実体の前提

405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%
426	16 行目	問 23・24	問 22・23
438	11 行目	加工費とは，直接材料費・直接労務費・製造間接費のこと	加工費とは，直接労務費・製造間接費のこと
447	解答	<table><tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr><tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>b. データ処理（件数）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>人件費合計</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	<table><tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr><tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td>800</td><td>600</td><td>200</td></tr><tr><td>b. データ処理（件数）</td><td>640</td><td>288</td><td>352</td></tr><tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td>160</td><td>30</td><td>130</td></tr><tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td>400</td><td>80</td><td>320</td></tr><tr><td>人件費合計</td><td>2,000</td><td>998</td><td>1,002</td></tr></table>
479	20 行目	次章で述べる	492 頁以降で述べる
505	最終行	順守	遵守
519	21 行目	複号化	復号化
554	下から 2 行目	508 頁	569 頁
608	23 行目	540 頁	601 頁

【第２刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
23	17 行目	内部監査人に独立性が	内部監査部門に独立性が
	18 行目	果たすのにあたり	果たすにあたり
	22 行目	客観性により内部監査人は	客観性があることにより，内部監査人は，
	23 行目	自己の業務の成果	自己の業務（work）の成果
	24 行目	可能になる	できる
27	21 行目	外見上	外観上
41	下から 3 行目	内部監査の定義，	（削除）
66	13 行目	7 つの原則を明示	7 つの原則（後の改訂で 8 番目の原則が加わり，現在は 8 つ）を明示
69	1 行目	7 つの原則	8 つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため

	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	（新規追加）	8. 機関投資家向けサービス提供者は,機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり,適切にサービスを提供し，インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。
70	13 行目	2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが，2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが，一部改訂されました。	スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に，コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部改訂されました。今後も 2～3 年に 1 度の改訂が予想されます。
72	最終行	捕捉されかつ伝達	捕捉かつ伝達
73	8 行目	その双方	その両方
	16 行目	資産の保護	資産の保全
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上
90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
173	21 行目	コントロールおよび組織体のガバナンス・プロセスの有効性の評価，改善を，内部監査としての体系的手法と規律遵守の態度とをもって行う	コントロールおよびガバナンスの各プロセスの有効性の評価，改善を,内部監査の専門職として規律ある姿勢で体系的な手法をもって行う
175	2 行目	完全な伝達とは，対象の読者に対し基本的な要素を欠かすことがなく，勧告と結論を裏付けるすべての重要で適切な情報と発見事	完全な伝達とは,対象の読者にとって非常に重要な事柄を欠くことがなく,改善のための提言と結論を裏付けるすべての重要性が高くかつ

		項を含む。	関連する情報と発見事項を含むものである。
181	7 行目	専門職的実施基準の国際フレームワーク	専門職的実施の国際フレームワーク
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
209	1 行目	倫理要綱	倫理綱要
	下から 5 行目	組織体の戦略,	組織体の, 戦略,
217	11 行目	課題に	課題へ
225	13 行目	専門職の正当な注意（due professional care）	専門職としての正当な注意（Due Professional Care）
242	最終行	水平的（右から左へ進む）	水平的（時間の流れを左から右へ示す）
		垂直的（上から下へ進む）	垂直的（時間の流れを上から下へ示す）
243	図表タイトル	業務の流れ図（例）	業務の流れ図（垂直的フローチャートの例）
244	4 行目	水平的にビジネスフローを	水平的に時間の流れに沿ったビジネスフローを
	9 行目	垂直的にビジネスフローを	垂直的に時間の流れに沿ったビジネスフローを
254	4 行目	関連規則等	関連規制等
255	14 行目	文書化し保存	文書化し, 保存
	21 行目	その他の知識	その他の能力
	下から 2 行目	明瞭，簡潔，建設的かつ適時的	明確，簡潔，建設的，完全かつ適時的
264	19 行目	曲解	歪曲
267	下から 2 行目	内部監査部門長は以下のことを	内部監査部門長は, 以下のことを
268	2 行目	それらの	その
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」
325	4 行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
390	8 行目	（詳細は，http://www.iiajapan.com/certifications/info/2018040	（削除）

		4.html を参照）	
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%
438	11 行目	加工費とは，直接材料費・直接労務費・製造間接費のこと	加工費とは，直接労務費・製造間接費のこと
447	解答	<table><tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr><tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>b. データ処理（件数）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>人件費合計</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	<table><tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr><tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td>800</td><td>600</td><td>200</td></tr><tr><td>b. データ処理（件数）</td><td>640</td><td>288</td><td>352</td></tr><tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td>160</td><td>30</td><td>130</td></tr><tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td>400</td><td>80</td><td>320</td></tr><tr><td>人件費合計</td><td>2,000</td><td>998</td><td>1,002</td></tr></table>

【第３刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
41	下から 3 行目	内部監査の定義，	（削除）
66	13 行目	7 つの原則を明示	7 つの原則（後の改訂で 8 番目の原則が加わり，現在は 8 つ）を明示
69	1 行目	7 つの原則	8 つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	（新規追加）	8. 機関投資家向けサービス提供者は，機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり，適切にサービスを提供し，インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。
70	13 行目	2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが，2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが，一部改訂されました。	スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に，コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部

			改訂されました。今後も 2～3 年に 1 度の改訂が予想されます。
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上
90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
209	1 行目	倫理要綱	倫理綱要
	下から 5 行目	組織体の戦略,	組織体の, 戦略,
217	11 行目	課題に	課題へ
255	14 行目	文書化し保存	文書化し, 保存
	21 行目	その他の知識	その他の能力
	下から 2 行目	明瞭	明確
264	19 行目	曲解	歪曲
267	下から 2 行目	内部監査部門長は以下のことを	内部監査部門長は, 以下のことを
268	2 行目	それらの	その
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」
325	4 行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
390	8 行目	（詳細は，http://www. iiajapan. com/certifications/info/20180404.html を参照）	（削除）
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝

		8.67%	8.67%
438	11 行目	加工費とは，直接材料費・直接労務費・製造間接費のこと	加工費とは，直接労務費・製造間接費のこと
447	解答	<table><tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr><tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>b. データ処理（件数）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>人件費合計</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	<table><tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr><tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td>800</td><td>600</td><td>200</td></tr><tr><td>b. データ処理（件数）</td><td>640</td><td>288</td><td>352</td></tr><tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td>160</td><td>30</td><td>130</td></tr><tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td>400</td><td>80</td><td>320</td></tr><tr><td>人件費合計</td><td>2,000</td><td>998</td><td>1,002</td></tr></table>

【第４刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
41	下から 3 行目	内部監査の定義，	（削除）
66	13 行目	7 つの原則を明示	7 つの原則（後の改訂で 8 番目の原則が加わり，現在は 8 つ）を明示
69	1 行目	7 つの原則	8 つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	（新規追加）	8. 機関投資家向けサービス提供者は，機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり，適切にサービスを提供し，インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。
70	13 行目	2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが，2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが，一部改訂されました。	スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に，コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部改訂されました。今後も 2～3 年に 1 度の改訂が予想されます。
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監	手続き	手続

<table>
<tr><td></td><td>査のポイント」中</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>89</td><td>19 行目</td><td>マトリクス状</td><td>マトリクス上</td></tr>
<tr><td>90</td><td>21 行目</td><td>マトリクス状</td><td>マトリクス上</td></tr>
<tr><td>93</td><td>「内部監査のポイント」中</td><td>手続き</td><td>手続</td></tr>
<tr><td>182</td><td>14 行目</td><td>d は倫理綱要の目</td><td>d は倫理綱要の目的。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">209</td><td>1 行目</td><td>倫理要綱</td><td>倫理綱要</td></tr>
<tr><td>下から 5 行目</td><td>組織体の戦略，</td><td>組織体の，戦略，</td></tr>
<tr><td>217</td><td>11 行目</td><td>課題に</td><td>課題へ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">255</td><td>14 行目</td><td>文書化し保存</td><td>文書化し，保存</td></tr>
<tr><td>21 行目</td><td>その他の知識</td><td>その他の能力</td></tr>
<tr><td>下から 2 行目</td><td>明瞭</td><td>明確</td></tr>
<tr><td>264</td><td>19 行目</td><td>曲解</td><td>歪曲</td></tr>
<tr><td>268</td><td>2 行目</td><td>それらの</td><td>その</td></tr>
<tr><td rowspan="2">276</td><td>10 行目</td><td>知らせなければ</td><td>開示しなければ</td></tr>
<tr><td>11 行目</td><td>「以前に自らが責任を負った業務」</td><td>「以前に自らが職責を有した業務」</td></tr>
<tr><td>325</td><td>4 行目</td><td>a　各監査契約の終了時</td><td>a　各監査業務の終了時</td></tr>
<tr><td>364</td><td>2 行目</td><td>各監査契約の終了時に</td><td>各監査業務の終了時に</td></tr>
<tr><td>390</td><td>8 行目</td><td>（詳細は，http://www.iiajapan.com/certifications/info/20180404.html を参照）</td><td>（削除）</td></tr>
<tr><td>393</td><td>6 行目</td><td>経済実態の前提</td><td>経済実体の前提</td></tr>
<tr><td>405</td><td>4 行目</td><td>固定比率＝固定負債／自己資本</td><td>固定比率＝固定資産／自己資本</td></tr>
<tr><td>422</td><td>下から 5 行目</td><td>実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%</td><td>実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%</td></tr>
<tr><td>438</td><td>11 行目</td><td>加工費とは，直接材料費・直接労務費・製造間接費のこと</td><td>加工費とは，直接労務費・製造間接費のこと</td></tr>
<tr><td>447</td><td>解答</td><td>
<table>
<tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr>
<tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>b. データ処理（件数）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人件費合計</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr>
<tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td>800</td><td>600</td><td>200</td></tr>
<tr><td>b. データ処理（件数）</td><td>640</td><td>288</td><td>352</td></tr>
<tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td>160</td><td>30</td><td>130</td></tr>
<tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td>400</td><td>80</td><td>320</td></tr>
<tr><td>人件費合計</td><td>2,000</td><td>998</td><td>1,002</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

【第５刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
66	13 行目	7 つの原則を明示	7 つの原則（後の改訂で 8 番目の原則が加わり，現在は 8 つ）を明示
69	1 行目	7 つの原則	8 つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	（新規追加）	8. 機関投資家向けサービス提供者は，機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり，適切にサービスを提供し，インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。
70	13 行目	2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが，2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが，一部改訂されました。	スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に，コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部改訂されました。今後も 2～3 年に 1 度の改訂が予想されます。
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上
90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
209	1 行目	倫理要綱	倫理綱要

	下から 5 行目	組織体の戦略,	組織体の, 戦略,
255	14 行目	文書化し保存	文書化し, 保存
	21 行目	その他の知識	その他の能力
	下から 2 行目	明瞭	明確
264	19 行目	曲解	歪曲
268	2 行目	それらの	その
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」
325	4 行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%
438	11 行目	加工費とは，直接材料費・直接労務費・製造間接費のこと	加工費とは，直接労務費・製造間接費のこと
447	解答	Activity（コスト・ドライバー）／コスト（万円）／サービス A／サービス B a. 電話対応（時間）／b. データ処理（件数）／c. 資料作成（枚数）／d. 会議・打合せ（時間）／人件費合計	Activity（コスト・ドライバー）／コスト（万円）／サービス A／サービス B a. 電話対応（時間） 800 600 200 b. データ処理（件数） 640 288 352 c. 資料作成（枚数） 160 30 130 d. 会議・打合せ（時間） 400 80 320 人件費合計 2,000 998 1,002

【第６刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上

90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
255	14 行目	文書化し保存	文書化し，保存
	21 行目	その他の知識	その他の能力
	下から 2 行目	明瞭	明確
264	19 行目	曲解	歪曲
268	2 行目	それらの	その
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」
325	4 行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%
447	解答		

【第 7 刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続

89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上
90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
268	2 行目	それらの	その
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」
325	4 行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%
447	解答	Activity（コスト・ドライバー）／コスト（万円）／サービス A／サービス B a. 電話対応（時間） b. データ処理（件数） c. 資料作成（枚数） d. 会議・打合せ（時間） 人件費合計	Activity（コスト・ドライバー）／コスト（万円）／サービス A／サービス B a. 電話対応（時間）／800／600／200 b. データ処理（件数）／640／288／352 c. 資料作成（枚数）／160／30／130 d. 会議・打合せ（時間）／400／80／320 人件費合計／2,000／998／1,002

【第８刷・第９刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
325	4 行目	a　各監査契約の終了時	a　各監査業務の終了時
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本
422	下から 5 行目	実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%	実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%
447	解答	Activity（コスト・ドライバー）／コスト（万円）／サービス A／サービス B a. 電話対応（時間） b. データ処理（件数） c. 資料作成（枚数） d. 会議・打合せ（時間） 人件費合計	Activity（コスト・ドライバー）／コスト（万円）／サービス A／サービス B a. 電話対応（時間）／800／600／200 b. データ処理（件数）／640／288／352 c. 資料作成（枚数）／160／30／130 d. 会議・打合せ（時間）／400／80／320 人件費合計／2,000／998／1,002

【第 10 刷をお持ちの方】

<table>
<tr><th>頁</th><th>訂正箇所</th><th>誤</th><th>正</th></tr>
<tr><td>182</td><td>14 行目</td><td>d は倫理綱要の目</td><td>d は倫理綱要の目的。</td></tr>
<tr><td>405</td><td>4 行目</td><td>固定比率＝固定負債／自己資本</td><td>固定比率＝固定資産／自己資本</td></tr>
<tr><td>422</td><td>下から 5 行目</td><td>実質金利＝（4,000－100）／（100,000－10,000）×12／6＝8.67%</td><td>実質金利＝{（4,000－100）／（100,000－10,000）}×12／6＝8.67%</td></tr>
<tr><td>447</td><td>解答</td><td>
<table>
<tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr>
<tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>b. データ処理（件数）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人件費合計</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><th>Activity（コスト・ドライバー）</th><th>コスト（万円）</th><th>サービス A</th><th>サービス B</th></tr>
<tr><td>a. 電話対応（時間）</td><td>800</td><td>600</td><td>200</td></tr>
<tr><td>b. データ処理（件数）</td><td>640</td><td>288</td><td>352</td></tr>
<tr><td>c. 資料作成（枚数）</td><td>160</td><td>30</td><td>130</td></tr>
<tr><td>d. 会議・打合せ（時間）</td><td>400</td><td>80</td><td>320</td></tr>
<tr><td>人件費合計</td><td>2,000</td><td>998</td><td>1,002</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

【第 11 刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
182	14 行目	d は倫理綱要の目	d は倫理綱要の目的。
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本

【第 12 刷～第 15 刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
405	4 行目	固定比率＝固定負債／自己資本	固定比率＝固定資産／自己資本

以上